

日本史 (Japanese History)

担当教員名	本間 哲也	
学科、科目詳細	機械工学科 3年 通年 一般科目 必修科目 2単位 講義	
学習・教育目標	(C)(H)	
科目的概要	近代以降を中心とする日本史の枠組みと流れを把握することを通して日本社会の特質を理解する。また、社会の事象や構造を捉える際の、客観的・科学的態度を養う。	
テキスト(参考文献)	笛山晴生他『詳説日本史』山川出版社 詳説日本史図録編集委員会(編)『山川 詳説日本史図録』山川出版社	
履修上の注意	用語・人名・年号などの暗記に留まらず、それらを結びつけるストーリー（因果関係）の理解に努めてほしい。板書を中心に授業を進めるので、確実にノート作成のこと。なお授業計画は必要に応じ補正の可能性あり。	
目標達成度(成績) の評価方法と基準	合格の対象としない欠席条件(割合) ・筆記試験 (70%) ・提出課題 (20%) ・出席状況と授業参加態度 (10%) ・60点以上を合格とする。	1/3以上の欠課
連絡先	homma@akashi.ac.jp	

授業の計画・内容

第1週 江戸幕府体制の基本構造

第2週 江戸幕府体制の動搖

第3週 開国

第4週 攘夷と倒幕

第5週 明治維新

第6週 明治国家の形成過程 (1)

第7週 明治国家の形成過程 (2)

第8週 中間試験

第9週 自由民権運動

第10週 立憲体制の確立

第11週 条約改正

第12週 日清戦争

第13週 藩閥と政党

第14週 日露戦争

第15週 日露戦後の国際関係

期末試験

第16週 日本資本主義の形成

第17週 日本資本主義の発達

第18週 第一次世界大戦と日本

第19週 政党政治の確立

第20週 大正デモクラシー

第21週 日本経済の破綻

第22週 軍部の台頭

第23週 中間試験

第24週 日中戦争

第25週 太平洋戦争

第26週 占領政策

第27週 冷戦と講和

第28週 55年体制と安保体制

第29週 経済復興と高度成長

第30週 55年体制終結と平成不況

期末試験